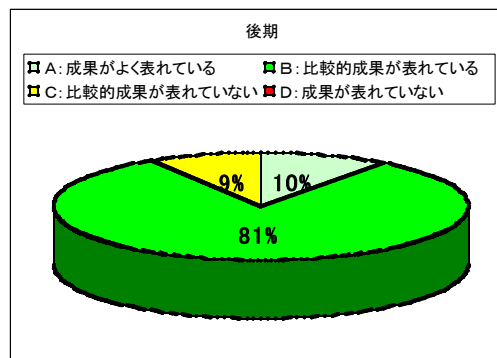
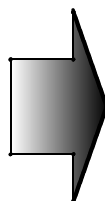
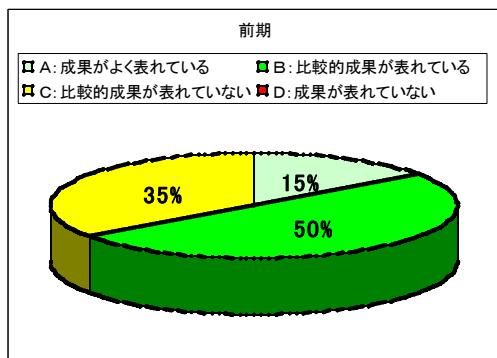


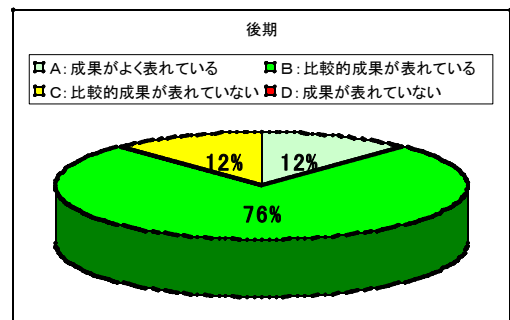
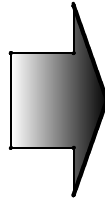
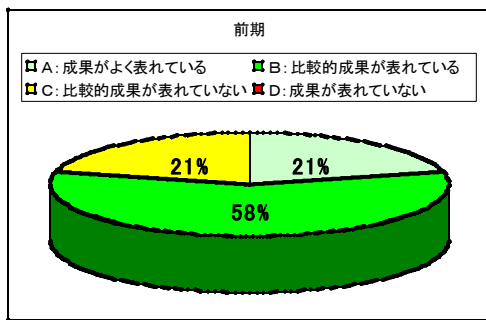
## 後半の学校評価から

特に前半の学校評価検討課題を検証する。(成果と課題)

### 合言葉は 『全職員が共通して、声かけ指導！』

【 検 討 課 題 】	具 体 的 な 改 善 策 (数字は学年)
<p>正しい鉛筆の持ち方、丁寧な字形を整えて書く力の育成</p> <p>◆結果(後半学校評価) 成果あり65%⇒91% 26ポイント向上。 掲示物の配布や声かけ指導の効果と考えられる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1・掲示物を見ながら常時指導を繰り返す。 硬筆の練習の時に、筆圧・形・丁寧に書くことを意識して指導する。</li> <li>2・担任から声をかけ、個別に指導する。 ・家庭でもはしを持つときや宿題をやる時に声かけをしてもらう。</li> <li>3・鉛筆の正しい持ち方を掲示し、こまめに声かけをする。 ・児童のノートを丁寧にチェックする。</li> <li>4・日常的に指導していく。</li> <li>5・その都度指導する。</li> </ol> <p>外・全教室に鉛筆の正しい持ち方を掲示し、一日一回は声かけをする。</p> <p>・6年生まで掲示物を見ながらこまめに声かけをする。(掲示物配布)</p> <p>・1、2年生は書くときには声をかけて指導する。</p> <p>・新1年生の保護者説明会の資料に「鉛筆の正しい持ち方」を加え、保護者にも意識してもらうようにする。</p> <p>・児童のノートを丁寧に担任がチェックしていく。(前期と比べると整えて書けるようになった児童が多い)</p>
<p>地域とのかかわり、体験的な学習の促進</p> <p>◆結果(後半学校評価) 成果あり79%⇒88% 9ポイント向上。 後半の学習の中で地域の方々の協力をお願いする機会が多かった。 効果なし12%あり課題は残る。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1・昔遊びで地域のお年寄りを招いたり、地域の公園を探検する。</li> <li>2・町探検に保護者の参加を呼びかけたり、駅員さんに話をしてもらったりしていく。</li> <li>3・地域で自慢できる人や物、施設等を見つけ、訪問したり、話を聞いたりする。</li> <li>5・計画にもとづいた実施が必要。計画をきちんと立てる。</li> <li>6・郷土博物館の活用(よろいかぶとの借用や博物館学習) ・エコクッキングやミシン学習に保護者の協力を得る。</li> </ol> <p>・昔遊び、町探検、施設見学など、保護者や地域の方の協力・援助を仰ぎ、安全に計画的に進めて学習の効果を図っていく。</p> <p>・外部講師によるエコクッキング、防犯教室、楽器の実技講習、民謡教室などの体験的な学習を進めていく。</p>



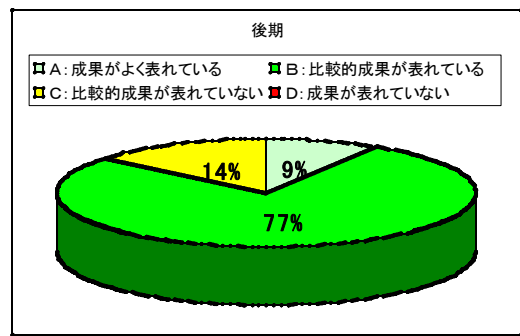
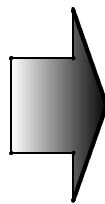
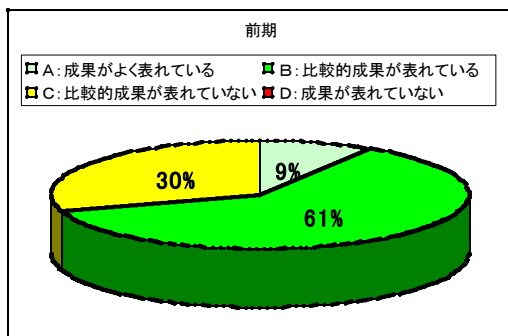


人の話をしっかり聞く力の育成

1. 聞き方の姿勢を形から指導する（ぺたん・ぐう・ピン）。
  - ・手に物を持たない、話す人を見るなど、繰り返し指導する。
  - ・学校朝会の話を教室でもう一度聞く。
2. 規律（児童全員が教師の顔を見るまで話を始めない等）を4月にしっかりつける。
3. 聞く姿勢ができてから話し始める。
  - ・学校朝会后、聞き取りテスト（記述）を行う。
4. これまでの研修の取組を継続する。（やらないとできなくなる）
5. 聞き方、聞く態度等、学校全体で取り組み、積み重ねる。
6. 常に目をかけ指導する（できない児童は決まっている）。

◆結果（後半学校評価）  
 成果あり70%⇒86% 16ポイント向上。  
 繰り返し指導を積み重ねてきた成果と考えられる。効果なし14%あり課題は残る。

・「聞き方じょうず」「聞き方名人」の掲示物を常に意識して、聞く姿勢を根気よく指導していく。



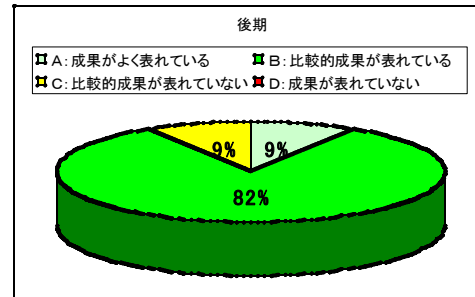
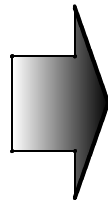
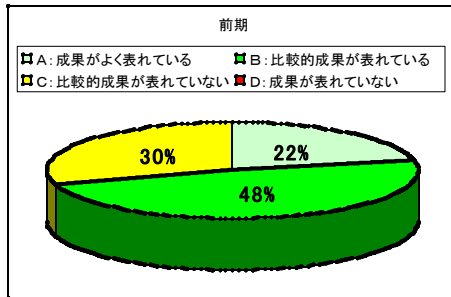
学習用具の準備、宿題をやりとげること

1. 忘れ物は保護者に懇談会等で話をする。
  2. 忘れ物については、その日のうちに注意をしたり、休み時間に宿題をやらせたりして、惰性にさせない。
  3. 忘れたことをきちんと報告させ、その対処法を考えさせる。（飴と鞭で根気よく取り組む）
  4. 学級の時間を使った指導や「北小のきまり」を活用する。
  5. やるべきこと、やらなければならないことがきちんとできているか、自分の行動を考えさせる。
- 外・忘れ物は言われる前に自分から報告させる。いい加減にしない。

◆結果（後半学校評価）  
 成果あり70%⇒91

・忘れ物についてはきちんと報告させ、対処法を考えさせる。  
 ・宿題忘れについては必ずやり遂げさせる。

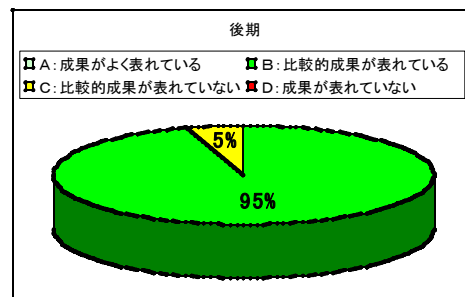
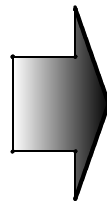
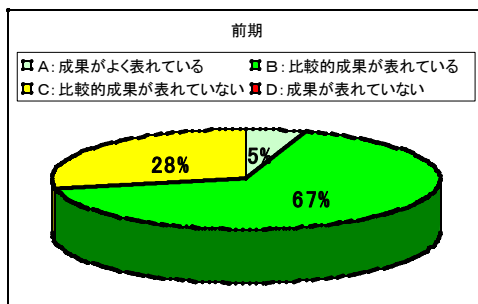
% 21ポイント向上。  
報告→対処法→保護者の協力で改善が図られてきた。



### トイレの使い方

- 2・時々トイレを見回るなどして、適時指導する。
- 3・女子が二人でトイレに入るのはやめるように指導したい。
  - ・学年が使っているトイレはなるべく見るようにする。
- 5・トイレを遊び場、たまり場としないよう、ドアを開けておく。
  - ・(臭いの問題が解決すれば・・・) トイレのドアを開け放つ。
  - ・朝会の後など、全校児童の向けてトイレの使い方について講話する。

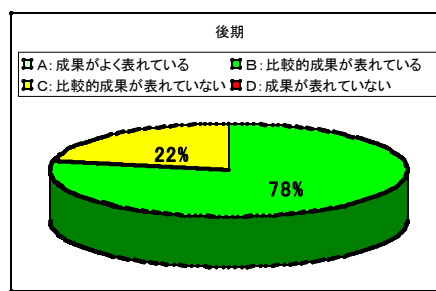
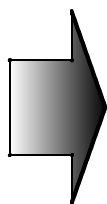
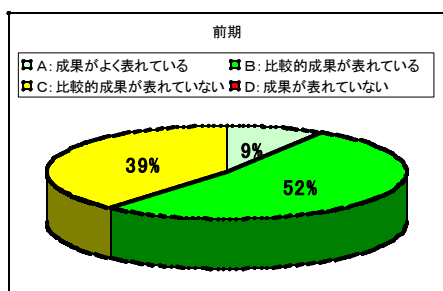
◆結果(後半学校評価)  
成果あり72%⇒95%  
23ポイント向上。  
各学年・学級の指導によるところが大きい。  
ドアを開けておくことも続けたい。



### 安全な廊下・階段の歩行、安全な過ごし方

- 1・廊下歩行はその都度注意する。
  - 2・走っている児童がいたら、その場で指導する。
  - 3・授業中の移動ができていないときは、やり直しをさせる。
    - ・遊びに外に出る時、階段と昇降口の間を走る子が多いので指導する。
  - 4、5・全職員で声かけ、指導する。
  - 6・走っている児童には各学級で厳しく指導する。
- 外・教室移動の時には「並んで歩いて移動すること」を声かけする。
- ・全職員が共通して、声かけ指導していく。

◆結果(後半学校評価)  
成果あり61%⇒78%  
17ポイント向上。  
しかし効果なし22%もあり、今後の課題。  
次の改善策を検討する。



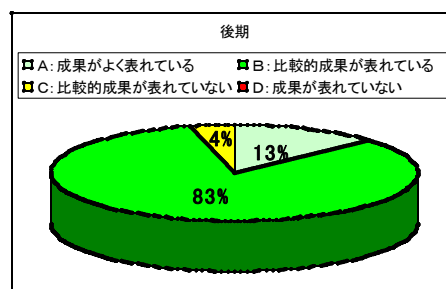
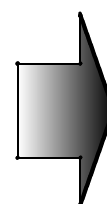
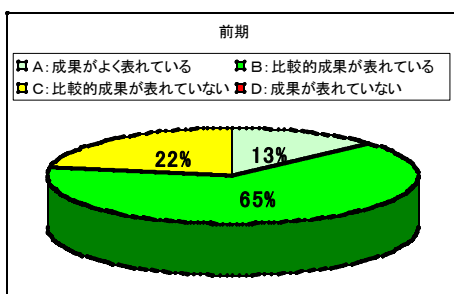
### 時間を守ること

- 2・時計を見るくせをつけさせる。
  - ・声かけ、チャイム席を徹底する。
- 4・教師が時間を守る。
- 5・教師も時間を守って行動する。

#### ◆結果(後半学校評価)

成果あり 78% ⇒ 96%  
18ポイント向上。  
放送やチャイムによる部分もあるが、改善が見られる。教師が時間を守ることが改めて大切。

- ・時計を見て行動できる子を育てるために、「5分前」という声かけを行う。(トイレ、水飲みも休み時間内にしておくことを共通指導)
- ・教師自身も時間を守って行動する。



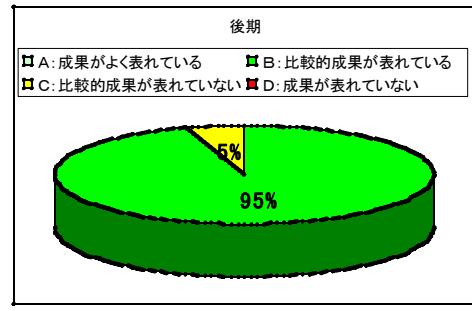
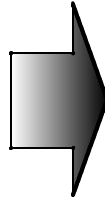
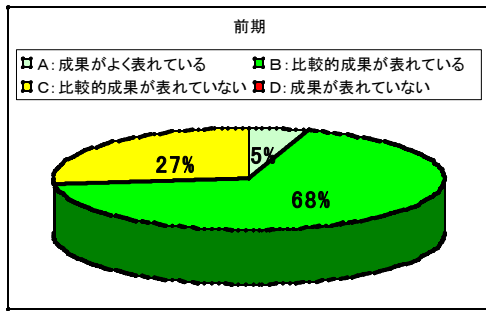
### 食べ物の好き嫌い

- 1・苦手な物も食べられるように指導する。(食育の指導の研究)
- 2・「少しは食べよう」「一口食べてから片づけに行こう」と声かけを継続する。
- 3・一口ずつ食べられるように指導する。
- 4・研修や年間計画に系統性をもたせ、発達段階に応じた計画を立てる。
  - ・学年に応じ、家庭への程度呼びかけていくか明確にする。
- 5・配膳された物を全部食べることに取り組む。
- 6・「一口は食べることを」を合い言葉に指導する。

#### ◆結果(後半学校評価)

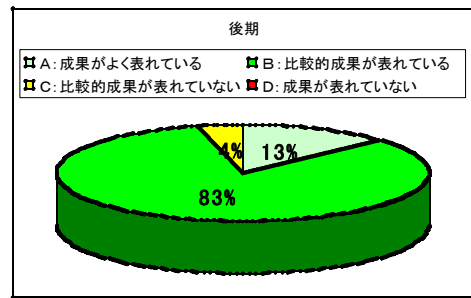
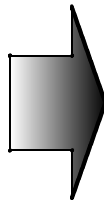
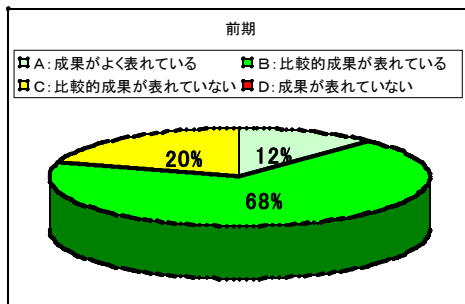
成果あり 73% ⇒ 95%  
22ポイント向上。  
学級活動(2)で取り上げた成果もあり。合い言葉は続けていく。

- ・苦手な物でも「一口は食べよう」を合い言葉に全学年で取り組んでいく。



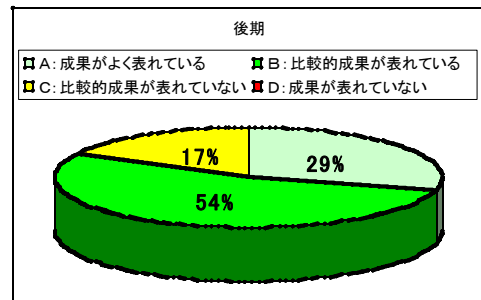
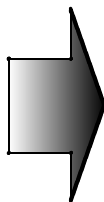
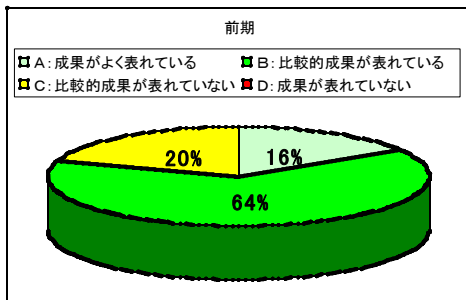
【 検討課題 】	具体的な改善策
企画委員会、職員会議の効果的な運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 春季、夏季、冬季休業中にも職員会議を持ち、その他の時は会議は2ヶ月に1回する。4月（春季）、6月、8月（夏季）、10月、12月（冬季）、2月とする。ただし年度末で会議が必要な場合は3月も行う。</li> <li>・ 企画委員会については、今年度同様、職員会議提案の変更や検討課題、新たな提案事項を扱う。</li> </ul>

◆結果（後半学校評価）成果あり80%⇒96% 16ポイント向上。企画委員会では、検討課題を精選してきたので、段階的に所要時間は短くなってきた。職員会議の時期や回数は21年度新たに提案する。



職員室の整理整頓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員ひとりひとりが整理整頓を心がけ、机上にはできるだけ物を置かないようにする。各学年等で声を掛け合う。（整頓の上手な職員にコツを教えてもらう）</li> <li>・ 窓際の棚の上に私物は置かない。</li> </ul>
----------	--

◆結果（後半学校評価）成果あり80%⇒83% わずか3ポイント向上。個人差もあるが、書類をどう処理していったらよいか、よい方法を伝えていく。机上には必要最低限のものを置くよう心がける。



家庭訪問・個人面談について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月は家庭訪問ではなく、児童の所在地確認のみとする。40分短縮授業は行わない。</li> <li>・ 夏季休業前の7月に5日間午後の時間を空けて個人面談を実施する。</li> </ul>
---------------	--

◆21年度上記の改善策を実施する。

## 【その他の課題】

- ①国語『配当漢字が100%習得しているか。』成果なし25%  
学年末に漢字の復習プリントにより習得を図る。
- ②生活・総合『パソコン、図書館、地域などを活用して調べる力は育っているか。』成果なし10%  
前半と比べて5ポイント下がり、1割に達している。すぐパソコンに飛びつくのではなく、学校の図書室や市立図書館で調べたり、地域に出て調査したりインタビューしたりできるようにしたい。
- ③生徒指導『進んであいさつのできる児童が育っているか。』成果なし20%  
前半と比べ、7ポイントも低下。年間の生活目標でありながら成果が見られない(2割)。段階的に手だてを立て、検証し、次なる手だてを立てていかないと向上は難しい。21年度の大きな課題。